

# 紫明ふれあい敬老のつどい

-9月20日

# 敬老会

北文化会館

バレエ・紫明小児童・立命館小児童・ノイエ・ハルモニア・和太鼓「どんづく」

三連休の最後の休みで役所等  
休日乍ら 大森北区長様、増田  
消防署長様、加藤北警察署長様  
他、多数の御来賓の御来臨を賜  
り華麗に式典が行われました。  
御参加頂いた高齢者の方々には  
喜んで頂けた事と想います。

三階では茶会を催し、皆さん  
が同窓会に参加されたように、  
楽しく語られ、一期一会の一と  
きをなごまれていました。一服  
のお茶で交流を深めて頂いた事  
と想います。交通安全推進会は  
北警察署と連携を持ち乍ら一二三  
の会議室で交通教室を催しまし  
た。大勢の方が熱心に、交通安

37度～40度という気温に苦しめられました。省エネを呼び乍らクーラー無しの生活は出来ず、全国で何人の方が熱中症で亡くなりました。過日、清水寺貫主が披露された今年の漢字は「暑成程」と領いています。この猛暑の中、学校のクーラーが故障し、汗だくの中で毎日耐えて準備をし、九月二十日第五十九回目の「ふれあい敬老のつどい」を北文化会館で開催しました。今年も多くの出演者が協力して下さり、紫明小学校の児童、立命館小学校の児童も元気一杯に舞台に華を添えてくれました。

紫明社會福祉協議會

發行所  
紫明社會福祉協議會  
編集責任者 森 直子



A photograph showing three individuals seated at a long, light-colored conference table. From left to right: a man in a dark suit, an older man in a white shirt and tie, and a woman in a white top. Each person has a small orange rectangular box in front of them. A vertical banner with the Japanese characters '来賓席' (Guest Seat) is draped over the table's edge. In the background, there are several rows of chairs facing the table, and a wall with vertical text indicating different meeting rooms: '会議室' (Meeting Room), '第1会議室' (Room 1), '第2会議室' (Room 2), '第3会議室' (Room 3), '第4会議室' (Room 4), 'A', and 'B'. There is also a potted plant on the left side of the table.

ります。一年三回発行の「紫明のひろば」では、活動の様々を報告しております。皆様ご覧頂いているでしょうか?

紫明学区は環境の良い学区です。住んでいて良かった。誰もが安堵出来る街づくりの為、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

全の学習に参加され  
ガラガラ抽選で景品  
を貰い、子供も高齢  
者も大喜びでした。  
日本の高齢化は加  
速的に進み今年は七  
十歳以上の方が二千  
万人を超えました。  
北区では、紫明学区  
の高齢化率が23パ  
ーセントで二番目に高  
く、介護保険の利用  
率は（デイサービス  
利用・ヘルパー派遣・  
介護やホーム入所等）  
高い水準を示してい  
ます。「一人でも多く  
の方が我が家で暮  
らす為にはどうすれ  
ば良いか?」

10 of 10

ます。「一人  
くの方が我が  
らす為にはど  
ば良いか?」

率は（デイサービス  
利用・ヘルパー派遣・  
介護やホーム入所等）  
高い水準を示してい

北区では、紫明学区の高齢化率が23パーセントで二番目に高く、介護保険の利用

全の学習に参加され  
ガラガラ抽選で景品  
を貰い、子供も高齢  
者も大喜びでした。



米寿おめでとうございます

平成二十二年

米寿者名簿（三十二名）（敬称略）

# 紫明交通安全推進会 交通フェアー実施





紫明小学校 教務主任  
北川知世先生

子ども達が、大きな舞台に立つて表現する機会を与えてくださり、ありがとうございました。「紫明ふれあい敬老のつどい」は、私にとっても、子ども達にとっても、大変貴重な体験をさせていただいたと感謝しております。又、紫明社会福祉協議会の皆様が、地域をとても大切にしておられることがよく分かりました。そんな中で、子ども達が育っていること、これは本当にありがたいことです。

本番は、三・四年生の子ども達が運動会で表現した演目「七月エイサー待ちかんてい」を力いっぱい踊りました。お年寄りの方たちから、大きな拍手をいただき、大よろこびでした。式

月エイサー待ちかんてい」を力いっぱい踊りました。お年寄りの方たちから、大きな拍手をいただき、大よろこびでした。式

典では、六年生の代表委員の子ども達が、お年寄りの方にお手紙とメッセージを。

その後、たくさんのお年寄りの方達から、お札のお手紙をいただきました。一生懸命心をこめて書いてくださったのだと本当にありがとうございました。そのお手紙のコピーを職員室前に掲示していましたら、どのお年寄りの方からも、お札のお手紙をいただきました。一生懸命心をこめて書いてくださいました。

九月九日、ちぎり絵作りに挑戦して頂きました。作品例として和紙をちぎり見本を用意したのですが、素晴らしい発想で皆さん素敵な作品を作られました。

(池水)



敬老のつどいを  
終えて



晴天に恵まれた九月二十日、今年も北文化会館に大勢のお年寄りの方々をお迎えして敬老のつどいが催されました。これは会場から映えで、皆さん大満足されたことと思います。これは会場からお帰りのお年寄りの方のお顔を見れば一目瞭然でした。

この「つどい」では、舞台での演技だけでなく、お年寄りの方々に紫明小学校校長から伺いました。このような老幼のふれ合いで、「つどい」の特徴の一つです。敬老の心が一過性で無く、長く続くことを願って居ます。



### 賛助会費集計のご報告

北区社会福祉協議会の賛助会費募集には紫明学区の皆様方のご協力を得まして個人・法人あわせて合計八一九件。昨年より四件減り金額にして五〇〇〇円減額となり合計金額一、一二九、〇〇〇円集まりました。各町内の名簿を添えて北区社会福祉協議会へ全額納入致しました事がご報告申し上げます。昨年よりわずかですが減額となりました皆様方、集金にご協力頂きまして各町内の皆様方に厚く御礼申し上げます。

(小林暉和)

日本唯一のコミュニティーノ（福祉村）です。第一入村者の高城一哉氏が現在も理事長として活躍され、共に暮らす御苦勞話を講演して頂き、心が浄められた素晴らしい研修会でした。



十一月二十五日、北区共同墓地防災対策や原因別防火のポインツについて学習しました。皆さん熱心に質問をしておられました。故田村一二氏が、知的障害や身体の障害・精神障害の子等と共に生活し「差あつて別なし」のバリアフリーのあるべき姿を理想として開設されたところです。

社会見学合同研修

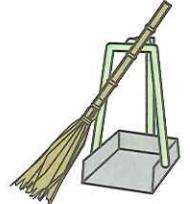




まだまだ暑さも厳しい十月五日、紫明通りせせらぎ公園の清掃をしました。当日は二十五度を超す夏日で、皆汗びっしょりになってのお掃除です。



# まち美化 一斉清掃



草が茂り、噴水の中は藻が繁殖してヘドロの様になつていました。その藻を引き上げ、plashでこすつてきれいな水にするのは大変な作業でした。草取りは三十袋程になり、噴水に溜まつっていた落葉やごみも綺麗に取り除かれました。

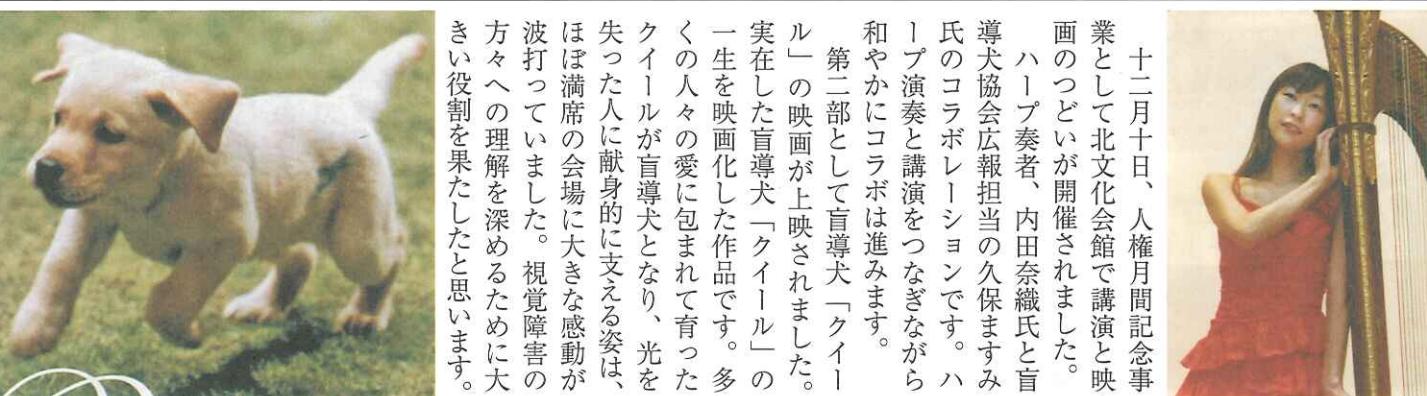


近所でも知らない方も多く、一緒に汗を流した作業の後、タオルを貰つての帰り道は少しですが充実感がありました。しかし、大半を残しており市の本格的な清掃までしばらくは家の前に飛んでくる落葉に悩まされる家庭も多そうです。

今回参加させていただき、参加者は年配の方が多く、若い方や子供達も参加する場にはねば、もっと公園が大切に使用されると感じました。

や少し入った道路に面した家々には落葉が吹き寄せられ、玄関の清掃ボランティアがあり、妻と共に参加して、ほんの一部を清掃しただけでも集めたゴミ袋

は三十袋程になり、噴水に溜まつっていた落葉やごみも綺麗に取り除かれました。



前回の清掃が必要となる折、今回一緒に参加して、ほんの一部を清掃ボランティアがあり、妻と共に参加して、ほんの一部を清掃しただけでも集めたゴミ袋は三十袋程になり、噴水に溜まつていた落葉やごみも綺麗に取り除かれました。

## 映画 盲導犬「クイール」

人権月間記念事業  
主催 北区ふれあい事業実行委員会



十二月十日、人権月間記念事業として北文化会館で講演と映画のつどいが開催されました。

ハープ奏者、内田奈織氏と盲導犬協会広報担当の久保ますみ氏のコラボレーションです。ハープ演奏と講演をつなぎながら和やかにコラボは進みます。

第二部として盲導犬「クイール」の映画が上映されました。ハープ演奏と講演をつなぎながら和やかにコラボは進みます。

休憩の後、井上流京舞略年譜になられた由、大正八年四世愛子氏が名取となり、その後昭和三世春子氏が井上流最初の名取になられた由、大正八年四世愛子氏が名取となり、その後昭和三十年に重要無形文化財保持者に認定され、平成二年文化勲章を授賞されました。その偉大な愛子氏の後を受け、平成十二年に三千子氏が五世を襲名され、今後の井上流を守っていく心構えを話されました。

京舞、井上流五世家元、井上八千代さんが、「伝統を受け継ぎ、次代へつなぐ」と題して講演されました。さすがに、着物姿が自然体で美しく、語りも京方言で分かり易く、平成十二年に五世を引き継がれ、飾り気なくお話しされる姿は本当に美しい人だと思いました。伝統ある京舞らしく品格があつて、常々

なかなかお目にかかれの方の話を聞くことが出来、幸せでした。お嬢さんの安寿子さんの踊りで井上流の特徴をお話しされました。伝統と技術と心がじつかり受け継がれている事に感動しました。日頃、御縁のない私達が参加させていただき良かっただと思いました。

あなたのかわいいために  
あなたのまちの幸せいために  
赤い羽根共同募金

10月1日▶12月31日

## ふとん丸洗いサービス実施



実施日 1月12日(水)



対象者 75歳以上の高齢者世帯  
寝たきりや障害のある方



費用 1世帯 2枚迄 無料



締切日 1月5日迄に、各町社協  
委員迄申し込んで下さい。



尚十二月は、歳末たすけあい運動が行われています。皆様の温かいご協力をよろしくお願い致します。

(北井)

皆様のご協力をお願ひ致します。のため、みんなで参加して、楽しい地域にいたします。皆様の貴重な募金は、北区役所を通じて、京都府共同募金にすばやかに集まりました。八四九、八〇〇円集まりました。

(森)

## あんなこと こんなこと

上総町 渡辺 秀明 (上総幼稚園 園長)

シリーズ  
(49)

十一年三日、文化の日」「紫明文化祭」。ワクワクし、麗らかな秋の日差しを受けて、紫明小学校の校門をくぐりました。森貞子会長に、うやうやしくお出迎えいただき、受付には池坊由紀運営委員長がお座りいただいて、主催の皆様の意気込みとおもてなしの心に感服しました。ご案内いただい、よいよ教室に設えられた展示を拝見して回りました。織細優美な工芸、温かさあふれる手芸作品の数々、日常の感動を見事に表現されている俳句の味わい、風格ある墨跡、日々の成果を遺憾なく発揮された作品とともに、小学生の皆さんのが放な表現、そして、華道池坊の先生方のエコ生花。

(前号に続く)

その後時代とともに、共働きをするご家庭も増え、二代目園長の渡辺昭により、0歳児からの乳児保育を立ち上げました。そして私は、平成十三年に園長に就任致しました。未だに、新しい事を取り組む際には、歴代ならぬうあります。その度に、改めて歴代の偉大さと、上総幼稚園の歴史の重さを感じております。今や温故知新は私の座右の銘となりました。三つ子の魂百まで申します。保育園はこの乳幼児期という人間形成

に、とても大切な時期を担つておる事実感しております。しかし先般、ネグレクトや児童虐待という痛ましい事件が相次いでおります。子どもは国の大切な資源です。全ての子どもは、平等に大きな夢と可能性を備えて生まれてきます。それを大人が断ち切る事のないよう社会福祉施設として子ども達の最善の利益を念頭におき、子育て支援、就学前教育と就労支援に努め、そして将来、子ども達が心身共に情操豊かな人に育つよう、今後も職員一丸となつて精進して参ります。

**生涯学習に参加して**

これまで陶芸教室、墨あそび教室に参加してきましたが今回も多くの方の参加をお待ちいたしております。

**生涯学習に参加して**

十支絵付教室  
絵てがみ教室  
墨あそび教室  
タイルアート  
陶芸教室

十支絵付教室  
絵てがみ教室  
墨あそび教室  
タイルアート  
陶芸教室



紫明地域文化プラザではいろいろな教室を開いて制作の樂しみを味わっています。その作品は文化祭に展示いたしました。ご覧いただけたでしょうか。来年度もチャレンジしていくたいと思います。又、こんな教室を開いてほしいなど、要望がありましたら申し出て下さい。参考にさせていただきます。一人でも多くの方の参加をお待ちいたしております。

**編 集 後 記**

出来事がありました。来年はやさしい兎の年。どうか穏やかな年となります事をお祈り致します。

(井上)



**生涯学習フェスティバル(地域文化プラザ)**  
**文化祭 (文化展)**

今年も秋晴れのもと、恒例となりました紫明文化祭が開催されました。朝早くから開門をい

れた方など、幅広い年代の方々にご参加いただき、くつろぎと賑わいに満ちた一日となりました。



紫明地域文化プラザ委員長  
池坊由紀

展示作品は、どれも力作ばかりです。また、鑑賞することで作品を通して、背後に込められた作者の考えに思いを寄せる

いう、双方のコミュニケーションが生まれます。

五十八回を迎えた紫明文化祭の蓄積が、この学区の文化の香り高い風土と、感受性豊かな人の心を育んできたのではないか

でしょうか。

また、地域への関心を高め、誇りを持つという点においても、その役割の一部を果たしている

ように思います。

毎年多くのご協力を頂戴していることに感謝し、ひき続きお力添えをお願い致します。

七月二十九日  
八月十九日  
九月三十日

陶芸教室  
大津市唐橋焼

**生涯学習の  
とりくみ**